◆管理運営方針

◎施設管理の考え方

- 安全、衛生、設備保守等の観点から専門知識や資格を持った人員を配置した管理体制の構築
- 利用者の健康管理、事故対策、設備保守点検等に必要な手順をマニュアル化
- 民間のノウハウの活用検討

◎施設運営の考え方

- 社会の状況に応じて変化する施設利用者のニーズや情報を的確につかみ、これに合致した最適で魅力的なサービスプログラムを提供するため、民間を活用した教室運営、技術指導等を検討
- 西知多産業道路から近く、名古屋鉄道寺本駅から 700m の立地を活かし、市民の利用促進を図ることや、他の施設を参考に誰でも利用しやすい料金体系を検討

◎利便性と快適性

- 施設内容の整備、情報の提供、運営スタッフの育成に努め、快適で清潔な環境づくりやサービスの充実を図り、施設の利便性と快適性の向上を目指す。

◎経済性

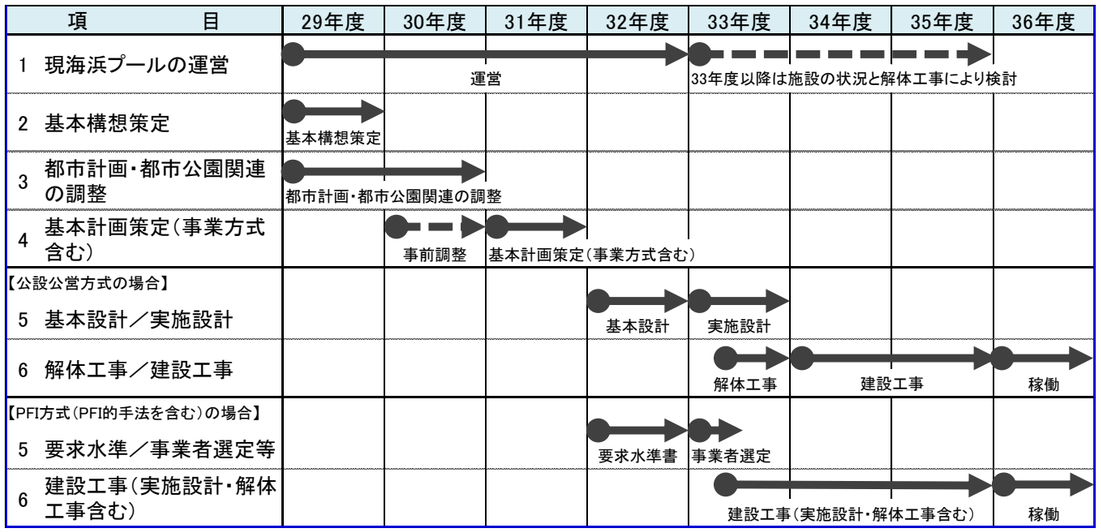
- 投資効果測定や収支計画等のシミュレーション及び長期的な経営ビジョンを持って運営し、社会や時代のニーズに対応する柔軟な組織を構築する。
- 広報活動やイベントの開催など施設全体と連携した情報の発信を行い、集客を図っていく。

◆事業手法

事業方式		概　　要	公民の役割分担				
			資金調達	建設	維持管理運営	所有 運営中	所有 運営終了後
公設公営		公共が資金を調達し、自ら詳細な仕様を決めて建設し、維持管理や運営も公共が行う方式	公共	公共	公共	公共	公共
公設民営（DBO）		公共が資金を調達し、民間事業者が設計(Design)、建設(Build)、維持管理・運営(Operate)を一括して請け負い、施設の所有は公共が行う方式	公共	民間	民間	公共	公共
民設民営（PFI）	BTO	民間事業者が資金調達、施設建設を行い、施設完成直後に公共に所有権を移転し、民間事業者が維持管理や運営を行う方式	民間	民間	民間	公共	公共
	BOT	民間事業者の役割は BTO と同様であるが、施設の公共への所有権の移転を運営終了後に行う方式	民間	民間	民間	民間	公共
	BOO	民間事業者が資金を調達、施設建設、維持管理・運営、運営終了後の施設解体を行う方式。公共への施設の所有権移転はない。	民間	民間	民間	民間	民間

◆事業スケジュール

温水プール等の健康増進施設の建設スケジュール（想定）は、次のとおりです。事業方式については、長所、短所を踏まえた上で、平成３１年度に決定します。



東海市・知多市
健康増進施設基本構想　概要版

◆はじめに

◎東海市と知多市（以下「両市」という。）は、共同して、現知多市清掃センターの敷地内に新しいごみ処理施設の建設事業を進めています。

◎ごみ処理施設で発生するエネルギーを活用して、両市民の健康づくりや健康寿命の延伸及び福祉の増進を目的とする温水プール等の健康増進施設を、両市が共同して建設することで合意しました。

◎平成 35 年度の健康増進施設の完成を目指し、平成 29 年５月から東海市・知多市健康増進施設基本構想検討会において検討を重ね、新たな施設の基本的な考え方をまとめました。

◆健康増進施設の建設予定地

◆両市の健康づくりの現況

東海市の現況	知多市の現況
◎主な健康課題 ①健康意識向上への取り組み／②生活習慣病予防への取り組み／③高齢者の健康づくりへの取り組み／④社会で支える仕組み／⑤健康になる環境の整備／⑥食育の取り組み **◎主な取り組み** 「生きがいがあり健康なまち東海市」の実現に向けて、市民一人ひとりが生きがいを持ち健康に暮らすことのできる環境の整備を進めています。 ①運動・食生活応援メニュー／②健康応援ステーション／③事業所（働く世代）の健康づくり／④みんなでウォーキング／⑤トマト de 健康づくり	**◎主な健康課題** 生涯を健康に過ごすために、生活習慣病発症予防と重症化予防が大切です。若いうちから定期的に健康診査及びがん検診を受診するとともに、健康管理や生活習慣の改善が重要となっています。 **◎主な取り組み** 「しゃかいで支え合う健康なまちづくり」をスローガンに掲げ、社会全体として健康を支え、守る仕組みをつくることに取り組んでいます。 ①健康と人の絆つくり隊推進事業／②野菜を食べようプロジェクト「野菜たっぷり!!ヘルシーメニュー」／③健康ウォーキング事業／④わ～くわくマイレージ

◆両市の主な公共の健康増進施設

No.	施設名	区分
①	知多市営海浜プール	屋外プール
②	東海市しあわせ村（健康ふれあい交流館）	温浴施設他
③	東海市営温水プール	屋内温水プール
④	知多市営新田プール	屋外プール
⑤	知多市営岡田プール	屋外プール
⑥	東海市民体育館	体育館
⑦	知多市民体育館	体育館

東海市は、北・中部に温水プールがそれぞれ１か所、トレーニングジムは北・南部にそれぞれ１か所、知多市は、温水プールがなく、トレーニングジムは、北部に１か所となっています。

◆基本方針と基本コンセプト

基本方針	**「市民の健康づくり、健康寿命の延伸及び福祉の増進」**
基本コンセプト	**① だれもが健康づくりに取り組める施設** 子どもから高齢者までの幅広い世代が、温水プールなどを利用して、健康づくり・体力づくりに取り組める施設を目指します。 **② 生涯を通じて健康づくりを続けられる施設** 気軽に、楽しく、ライフステージにあった「心」と「体」の健康づくりを続けられる施設を目指します。 **③ 民間活力の活用による施設** 民間事業者のノウハウを活用し、経済性に優れ、利便性の高い施設を目指します。

◆市民ニーズの把握

市民アンケート調査の結果

■アンケート対象

東海市及び知多市の市内在住の 16 歳以上の方
3,000 人（東海市 1,500 人　知多市 1,500 人）
回答者数 1,213 人（回答率 40.4%）

■調査結果

【10～30 歳代】水泳用の一般プール、水中歩行用プール、ジャグジーやジム、スタジオの利用希望が高い傾向があります。また、特に 30 歳代で、幼児・児童用プールの利用希望が高い傾向があります。
【40～50 歳代】水中歩行用プール、ジャグジーやジムの利用希望が高い傾向があります。
【６０歳代】水中歩行用プール、ジャグジーの利用希望がやや高い傾向があります。
【７０歳代以上】水中歩行用プールや講義室の利用希望がやや高い傾向があります。

ヒアリング調査の結果

■ヒアリング対象

体育関連団体２団体、健康づくりリーダー、
子育て世代関連団体２団体、
労働者関連団体１団体

■主な意見（◎複数の団体からの意見　○それ以外の意見）

◎レジャープールの整備希望がありました。
◎飲食スペースを充実するよう整備希望がありました。
◎子ども用の水泳教室の希望がありました。
○公認競技用の５０ｍプールの整備希望がありました。
○家族で楽しめるような施設になるよう希望がありました。
○子どもにとって楽しい場所になるよう希望がありました。
○水中歩行用コースと遊泳用コースを分けるよう希望がありました。

◆健康増進施設に求められる機能

①一般水泳用プール機能
水泳用に利用する 25mプールです。学校等の団体利用時に一般利用が可能なコース数などを考慮します。

②健康増進プール機能
健康に対する意識の向上を背景に、水圧、浮力、粘性といった水の持つ理学特性を活用することで、受動的な身体活動を促進させるプールです。具体的には、水中歩行用プール、ジャグジープールなどがあります。水中歩行用プールの市民ニーズが高いため、水中歩行専用プールの整備を検討します。

③子ども用プール機能
幼児や園児、小学校低学年など、子どもを対象にしたプールであり、比較的水深も浅く、安全に利用できるプールです。具体的には、幼児用プール、児童用プール、すべり台などがあります。

④トレーニングジム機能
トレッドミル、レッグプレスなどのトレーニングマシンを活用して、有酸素運動や筋力強化が行えるトレーニングジムです。

⑤スタジオ機能
インストラクターの指導の下、グループエクササイズやレッスンなど、魅力あるプログラムを通じて、楽しみながら健康増進ができるトレーニングスタジオです。

⑥飲食・休憩スペース機能
利用者の交流やコミュニケーションを図ることができる飲食や休憩スペースです。

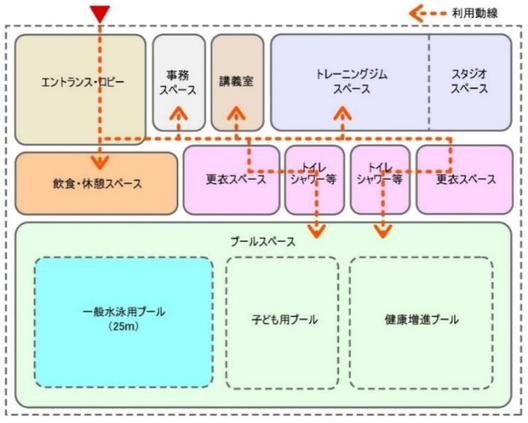
⑦講義室機能
健康関連の研修、健康相談、会議などが行えるような部屋です。

◆ごみ処理施設で発生するエネルギーの利活用

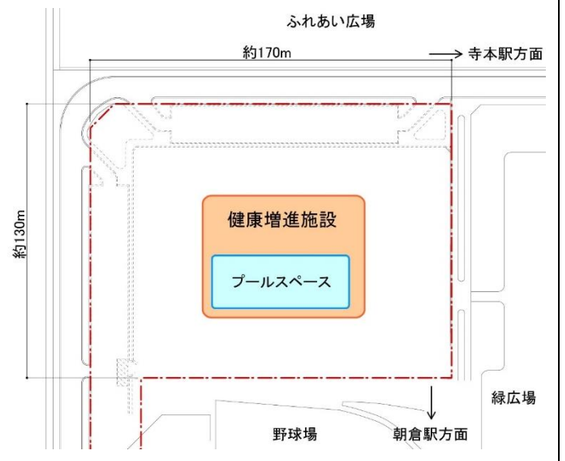
健康増進施設では、ごみ処理施設で発生するエネルギーを利活用します。エネルギーの利活用については、ごみ処理施設におけるエネルギー供給設備の必要性、エネルギー利活用の安定性及び実現性の観点で優れているため、電気エネルギーでの利活用を基本的な方向性とします。

◆施設整備イメージ

施設整備イメージ（一例）



施設規模イメージ（一例）



あくまでもイメージであり、具体的な施設内容、配置等については、基本構想を踏まえ、基本計画で検討します。